

A. 主な動き

1. 内政

▼地方議会及び自治体首長選挙

・11日、中央選挙管理委員会は、地方議会及び自治体首長選挙の選挙運動開始を宣言。

・15日、中央選挙管理委員会は、同選挙のための各地方選挙管理委員会を設置。

・17日、ティモシェンコ前首相は、同選挙の公正な実施に向けた話し合いが必要であるとし、ヤヌコーヴィチ大統領との面会を要求。

▼その他

・11日、アザロフ首相は、8日に最高会議に登録されたロシア語等の自由な使用・発展にかかる法案は、少数言語話者への差別解消を目指すものと発言。

・13日、検事総局は、2000年のゴンガツェ記者の暗殺はクラフチェンコ元内務相による命令によるものと結論。これに対し、「国境なき記者団」は、同内務相には暗殺の動機が無いと、同結論を非難。

・16日、臨時裁判員会議は、辞職した憲法裁判所裁判官の後任となる4名の裁判官を任命。

・16日、ティモシェンコ前首相は、ヤヌコーヴィチ大統領への批判を止めないならば生命に危険が及ぶといった主旨の脅迫電話を受けたと発表。これを受け、ヤヌコーヴィチ大統領は、同情報源を特定すると共に、必要であればティモシェンコ前首相の警備を強化するよう指示。

・17日、ティモシェンコ前首相は、国家保安庁がトゥルチノフ前第一副首相の親族に危害を加えようとしていると発言。これに対し、ホロシコフスキー国家保安庁長官は、同前第一副首相の行方が分からなくなっているため関係者に聞き込みをしているだけである旨発言。

2. 経済

▼マクロ経済

・15日、経済省は、8月の工業生産高が前年同月比9.2%増、前月比1.2%増、1-8月期においては前年同期比10.9%増と発表。

・15日、国家統計委員会は、8月の失業率は1.4%で7月から変化無しと発表。

・16日、経済省は、2011年及び2012年のGDP成長率がそれぞれ4.5%及び6.5%、また、2013年及び2014年にはそれぞれ6.5%、8%となると予測し、これが正しければ、ウクライナは2012年以降危機前のGDPレベルに回復すると発表。

▼金融・財政

・15日、チギプコ副首相は、閣僚会議は税法典の採択後の

9月末か10月に2011年予算案を最高会議に提出予定と発言。

・15日、ヤロシェンコ財務相は、今年中のVAT債券の追加発行は無い見込みと発言。

・17日、閣僚会議は、税法典案を承認。同案は閣議において出された提案等を取り入れた上で今週最高会議に提出予定。

▼エネルギー

・13日、ヤヌコーヴィチ大統領は、訪問先のブラッセルにて、ウクライナのエネルギー共同体(Energy Community)条約への加盟文書への署名が9月24日に行われる予定、同加盟はウクライナにとって重要な戦略的一步となると発言。

▼対ウクライナ支援

・13日、マクシュタ経済省第一次官は、エッゲルマイヤー独経済協力開発省局長と2010年の二国間協力の継続に関する議定書に署名。独はウクライナに対し今年の技術・金融協力に対し2,100万ユーロを計上予定。

▼ガス問題

・13日、ヤゼフ露ガス協会会長(露国家院副議長)は、ナフトガスと露ガスプロムが合併した場合には、「サウス・ストリーム」建設計画の変更は有り得るが、廃止はないと明言。

・13日、ヤゼフ露ガス協会会長は、ナフトガスと露ガスプロムの合併が近日中に行われる見通しはなく、また露がガス価格契約の価格算出式を見直す予定もないと発言。

・13日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナがロスウクルエネルギー社との紛争にかかるストックホルム仲裁裁判所の判決を遵守すると発言。

・14日、国家保安庁は、露連邦保安庁と協力の上、10日にクシュニル前ナフトガス経理副部長を露ヴォルゴグラード市で拘束したと発表。

・15日、バクーリン・ナフトガス社長は、天然ガスの地下貯蔵施設設備蓄量が226億立方メートルと発表。

・16日、ボイコ燃料エネルギー相は、現時点で自身はロスウクルエネルギー社と一切関係しておらず、その経営にも参加していないと最高会議臨時調査委員会で発言。

・17日、露ガスプロムは、本年第4四半期のウクライナ向けガス価格が1,000立法メートルあたり約250米ドル、また2011年の価格については、本年とほぼ同じで大きな変更はないと発表。

3. 外政

▼13日、ヤヌコーヴィチ大統領のブラッセル訪問

・ヤヌコーヴィチ大統領は、バローゾ欧州委員長と会談、連合協定、FTA創設及び無査証渡航制度を中心としたウクラ

イナ・EU間の諸問題を協議。ヤヌコーヴィチ大統領は、連合協定交渉が大きく前進、共に妥協点を模索し、互いに譲歩しあうことで合意したと発言。パロゾ委員長は、今回の会談を大変生産的と評価、またEUがウクライナのガスパイプライン近代化作業に参加する用意があることを表明。

・ヤヌコーヴィチ大統領は、ファン・ロンバイ欧州理事会議長と会談、ウクライナ・EU関係、ウクライナ国内における改革実施、ウクライナで10月31日に実施予定の地方選挙等につき協議。

▼14～15日、ナザルバエフ・カザフスタン大統領の来訪

・ヤヌコーヴィチ大統領は、ナザルバエフ・カザフスタン大統領と会談、二国間関係の諸問題につき協議。ヤヌコーヴィチ大統領は、農業、航空機製造、宇宙分野等で二国間協力の発展が有望と発言。ナザルバエフ・カザフスタン大統領は、12月にアスタナにて開催されるOSCEサミットへヤヌコーヴィチ大統領を招請。

・ヤヌコーヴィチ大統領は、露・カザフスタン間で行われている原子力発電所向け核燃料製造にウクライナが参加する旨合意し、またカザフスタン産石油のウクライナ経由トランジットに関して合意したと発表。

▼その他

・15日、第16回ウクライナ・EU連合協定交渉がブラッセルで開催、クリムキン外務次官を代表とするウクライナ側とミンガレリ対外関係総局次長を代表とするEU側は、連合協定の前文、政治対話、司法に関する本文等につき協議。

・16日、第4回ウクライナ・露国際協力国家委員会下部委員会会合がモスクワにて開催、下部委員会は、アゾフ海・ケルチ海峡国境画定、国境間問題、領事協力、地域紛争解決、

新たな脅威防止及び国際機関における協力の分野で設置、グリシチェンコ外相がウクライナ側代表、ラヴロフ露外相が露側代表。

・17日、ヤヌコーヴィチ大統領は、サンクト・ペテルブルグ・モスクワ・キエフのルートの国際カーレースにメドヴェージェフ露大統領と共に参加、ウクライナ・露国境間協力につき協議。

4 . 防衛

▼ジョビン・ブラジル国防相のウクライナ訪問

・15日、エジェリ国防相とジョビン・ブラジル国防相は防衛協力協定に署名。また、ブラジルのアルカンタラ宇宙センターにおいてサイクロン-4宇宙コンプレックスの建設を完成させ2012年に最初の打ち上げを実施する計画及びコルベット艦・軍用輸送機アントノフ-70建造等についても議論。

・16日、コレースニコフ産業政策相とジョビン・ブラジル国防相が会談。ジョビン国防相は、ブラジルはウクライナと軍事技術協力を進展させたいと考えており、本分野における協力に関する双務協定署名を早める用意があると発言。

▼海賊被害

・16日、Inter TV Channel は、12日にカメルーン沖において海賊が貨物船「サルマ」を拿捕したと報道。本貨物船には、ウクライナ人4名を含む10名の搭乗員が乗船。

▼露連邦保安庁(FSB)将校逮捕事案

・17日、関係筋は、1月27日にオデッサ州で秘密情報入手しようとして検挙されスパイ活動罪で有罪判決を受けたノスコフFSB大佐が、この夏に露側に引き渡されたと発言。

B . その他の動き

9 / 13 (月)

・エジェリ国防相は、10・11月の徴兵に関する命令に署名。徴兵される人員数は2万6,000人を超え、約2万0,000人がウクライナ軍で、5,600人が内務省軍で、1,100人が国家輸送サービスでそれぞれ勤務する予定。

9 / 14 (火)

・ヤヌコーヴィチ大統領は、軍事裁判所を解散する大統領令に署名。

9 / 15 (水)

・ウクライナ国鉄(ウクルザリズニツァ)は、露国鉄とモルドバ国鉄はキシニョフとオデッサを結ぶ列車を10月1日から201

2年12月31日まで再開することに合意。同線は2006年に運行が停止されていた。

9 / 16 (木)

・カザフスタン国防省は、エジェリ国防相とジャクシベコフ・カザフスタン国防相が軍事装備品の整備と近代化のための共同事業創設の可能性につき議論したと発表。

・露海軍筋は、黒海艦隊とカスピ小艦隊は南部軍管区内の海軍運用コマンド内で再編されると発言。

(了)